

RID 2780

茅ヶ崎ロータリークラブ週報

2022-2023 年度テーマ



イマジン
ロータリー

Painted by Kenzo Tanaka

第 63 代会長 中山 富貴子

第 63 代幹事 富田 桂司

〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3 階 TEL: 0467-83-6060 FAX: 0467-83-9915

メール: c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL: 0467-87-0002

2023 年 5 月 25 日(木) 第3016回例会 天候:晴れ 司会:安武 勝副幹事 No. 41

＝本日の例会行事＝

- ◇歌唱 「それでこそロータリー」 ◇入会セレモニー [樋口康雄会員] ◇事業所新築祝 [加藤会員]
- ◇会長挨拶 ◇幹事報告 ◇委員会報告 [親睦 他] ◇1 分間スピーチ
- ◇卓話 大竹孝一会員『気候と仕事』 大箭剛久会員『茅ヶ崎ロータリークラブの奉仕活動』

◎ゲスト・ビジター紹介

加賀妻英樹様 (岩澤会員ゲスト)

◎入会セレモニー

新会員 樋口康雄君 (紹介者: 横山 貢君)

●歓迎の歌: 奉仕の理想

◎幹事報告

◆ガバナー事務所より

◇2023 - 24 年度地区委員会委員 ご就任委嘱の件 (追加: 役職変更)

●地区立法案検討委員会 副委員長 成田栄二君

◇2023 - 24 年度 クラブ会長へお願い

◆相模原おださが RC より 認証状伝達式のご案内

●6/17 (土) ●式典... 15:00 ~ あじさい会館 ホール

●祝宴... 17:00 ~ けやき会館 大樹の間

◆ロータリー文庫運営委員会より ロータリー文庫の事務所移転と電子図書館開設のお知らせ

●移転先... 東京都港区浜松町 2 - 7 - 16 第3小森谷ビル別館 6 階 (電話・FAX・メール等 変更ありません)

◆タウンニュース

◎委員会報告

親睦 [木村邦佑会員]: 親睦家族旅行の報告

安武次年度幹事: 委員会計画書、本日締切

◎1 分間スピーチ

岩井会員 コロナ第五類移行で、社内行事が徐々に復活してきました。5 月 15 日は創立記念日で、四年ぶりに茅ヶ崎コミュニティホールで OB・OG130 名ぐらい来ていただき、久しぶりにみなさんの元気なお姿を見て、心強い感じがしました。

水嶋会員 有限会社水嶋水嶋は今年で 31 年目となりました。運送から始まりまして、環境事業、リフォーム事業、マリン事業に加え、ディーゼルエンジン車に入れる adblue (高品位尿素水) の取り扱いを始めました。必要な方はお声掛けください。



左から岩井・水嶋・和田 (会長代理) の各会員

スマイル報告 水嶋 聡会員

加藤 寛君 お祝大変ありがとうございます。赤羽根に遊びに来てください。

加瀬義明君 加賀妻さんようこそ。樋口さん、入会おめでとうございます。大竹さん、大箭さん卓話よろしくお願い致します。一昨日初孫の男の子が誕生し、おじいちゃんになりました！

和田幸男君 親睦旅行参加の皆さん、お世話になりました。大竹さん、大箭さん卓話よろしくお願いします。



左) 新入会の樋口会員 右) 事業所新築祝の加藤会員

出席報告 岩井 泰会員

日時	回	現会員	計算会員	出席	MU済	欠席	暫定出席率	修正出席率
5/25	3016	44	43	27	3	13	69.77%	
5/11	3014	43	40+1	31	2+1	7	80.49%	82.93%

木村邦佑君 親睦旅行お疲れ様でした。親睦深まり楽しかったです。他の皆様とも親睦深めた一い。今日この頃です。ゲスト加賀妻さんとも深めた一い。

田中 毅君 大竹さん、大箭さん卓話楽しみにしています。よろしく願います。

澤邑重夫君 樋口さん入会おめでとうございます。加賀妻さん、ようこそ。ここ数日、イータックスとかエルタックスとか取り組んでいたら、ほぼ徹夜になってしまい、私が起きると、ニワトリも寝られないので、かわいそうでした。今日は水嶋さんが思い切り付き合ってくれるそうなので、ニワトリは安心して寝られると思います。

大箭剛久君 本日の卓話、一人目の大竹さんがなかなか来ないので、このままだと30分間話すようになるのではないかと心配していましたが、無事に来られたのでひと安心。食事もうんりのどを通ります。

富田桂司君 加賀妻さんようこそ！樋口さん御入会おめでとうございます。先日は親睦旅行に参加された皆様、お疲れ様でした。世界大会にて会長は欠席ですが、楽しくやりましょう。私も本日より久々に北海道旅行に行つて参ります。お元気で！

杉本剛昭君 樋口さん、ご入会おめでとうございます。加賀妻様、ようこそお越しくださいました。本日は朝から横浜での会議へ出席してきました。11時半に山下公園付近から例会会場へクルマをスタートさせましたが、何とかなるものですね。遅刻せずにすみしました。

小澤雅彦君 樋口さん、入会おめでとうございます。どうぞよろしく願います！

橋本正一君 ゲストの加賀妻さんようこそです。新会員の樋口さん、入会おめでとうございます。大竹さん、大箭さん卓話楽しみです。

大竹孝一君 ゲスト加賀妻君ようこそ。樋口様入会おめでとうございます。先週はお伊勢参りお疲れ様でした。本日卓話ですが、何を話そうか考えていません。ぶっつけ本番です。

安武 勝君 樋口さん入会おめでとうございます。

秋本一茂君 先日盛り上がった大岡越前祭の特番が今週末に放送されます。是非ご覧ください。

平賀裕祥君 加賀妻様ようこそ。樋口様入会おめでとうございます。一緒に盛り上げましょう。

水嶋 聡君 皆様に幸有れ！加賀妻さんいらっしやいませ。樋口さん入会おめでとうございます。

[本日16件、30,000円です]



左から成田会場監督、木村邦佑親睦委員長、新会員紹介の山口会員



卓話 大竹孝一会員『気候と仕事』

1973年4月21日生まれ A型
職業分類：農業
2016年6月入会
迷った時には四つのテスト。好意と友情に支えられている

農業は天気を読んで作業する必要があります。農業用の暦というのがあって、それを見ながら作業を進めていきます。農業には天日とともにやる露地栽培と、施設の中で行う管理栽培があります。管理栽培にも水だけで行う水耕栽培と土耕栽培がありますが、何年か前にロータリーでイチゴ狩りに行って試食したイチゴは、水だけで作ったものだったので、味がぼやけていて、イマイチでした。

現在は市場もほとんど機能していません。また、取引先が八百屋ではなくなっています。イオンやヨーカ堂といった大手、地元ではエイビイやたまやといった中堅のスーパーが主な取引相手なので、先に出荷量を言って、それをいくらで買ってもらうか、ということになります。安定的出荷をしないと信用されないの、うちであれば、小松菜とほうれん草千束をきちんと納められるかどうかが問われます。

また、10年前・20年前とは気候がかなり違っています。今年で言うと、3月がとても暖かったので、ジャガイモを早く植えた人もいました。早く出荷すると、高値がつくので、早く出荷したいわけです。ところが、4月になっていきなり寒くなって、霜がついてダメになったケースもありました。そういうこともあって、事前にどういう対策を取っていくかが大事になります。不織布を掛けたりとかですね。自然はコントロールできないので、農業はどうしても博打的要素もありますね。

今一番気になっているのはイチゴです。イチゴ栽培に必要な油・電気代は高騰していますし、クリスマスのショートケーキは卵、牛乳、小麦といった材料が全て値上がりしているので、戦争が終わらないうちはたいへんな贅沢品になってしまいそうですね。



5月20日に実施された子ども食堂

★大箭剛久会員の卓話は別紙に掲載致します★

RID 2780

茅ヶ崎ロータリークラブ週報

2022-2023 年度テーマ



イマジン
ロータリー

Painted by Kenzo Tanaka

第 63 代会長 中山 富貴子

第 63 代幹事 富田 桂司

〔事務局〕 〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町 13-29 茅ヶ崎商工会議所 3 階 TEL : 0467-83-6060 FAX : 0467-83-9915

メール : c3rc@io.ocn.ne.jp 〔例会場〕 〒253-0073 茅ヶ崎市中島 1341 コルティール茅ヶ崎 TEL : 0467-87-0002

2023 年 5 月 25 日(木) 第3016回例会 卓話 大箭剛久会員

大箭剛久会員『茅ヶ崎ロータリークラブの奉仕活動』

1964 年 3 月 10 日生まれ O 型

職業分類 : 機械機器 D

2013 年 5 月入会

多様性を認め、お互いを尊重し合うことがクラブの原動力



ロータリー歴の長い方はもちろんご承知のことですが、年度の初めにクラブ委員会活動計画書という冊子が配布されます。その中に基本事業及び継続事業を記したページがあります。今年度、継続事業として記載があるのは、職業奉仕事業として茅ヶ崎商工会議所の優良産業人表彰への協賛、浜降祭後の海岸清掃の 2 件ですが、実際には茅ヶ崎駅南口駅前の植栽事業も継続事業として行われています。また、今年度は新たに木村邦佑会員の信隆寺さんで行っている子ども食堂への協賛・お手伝いをさせてもらっています。

お手元にお配りした資料は、過去の記念誌などを参考に、我がクラブの社会奉仕事業・国際奉仕事業をまとめたものです。今に続く浜降祭後の海岸清掃は 1980-81 年度から、駅前の植栽事業は 2016-17 年度から継続事業となっています。優良産業人表彰は職業奉仕事業で別扱いとなるため資料には掲載しませんでした。当初は茅ヶ崎クラブ主導で 1962-63 年度にスタートし、その後商工会議所が中心となり、茅ヶ崎クラブが協賛する形で現在に至っています。他にも過去に継続事業として何年かに渡り行ってきた事業もありますが、これらの事業については、お時間のある時に資料をご覧くださいと思います。

冒頭にもお話しした通り、近年のコロナ禍では人を集めること自体が敬遠されてきたので、止むを得ない部分もありますが、基本的にはロータリーの奉仕活動は、単に物品の寄贈ではなく、ロータリアン自らが汗を流して

活動をするのが求められます。特に財団の補助金を申請するような事業では、原則として物品の寄贈だけでは認められません。私が入会してから十年の間に行われた事業で、特に印象に残っている活動について取り上げたいと思います。

まず、フィリピン・ドゥマガ族への支援についてです。先日、フィリピンのマンダロンクラブの創立 60 周年の式典に加瀬さんと二人で参加してきたことはご報告させていただきましたが、もともとマンダロンクラブとは台北西北クラブの姉妹クラブ同士です。私は横山会長年度に奉仕プロジェクト委員長を仰せつかりまして、何をしたら良いか何も分からずにいた時に、台北西北クラブではどんな奉仕活動をしているのか訊いてみようと思い、問い合わせたところ、それならマンダロンクラブを紹介しますという返事が来て、そのうちに台北西北クラブとマンダロンクラブの間で「茅ヶ崎クラブが国際奉仕の相手を探している」みたいな話が勝手に進んでしまい、当時マンダロンクラブの会長エレクトだったルイさんが茅ヶ崎クラブにメイキャップに来られました。

ルイさんは会長を終えられた後も 3800 地区の社会奉仕委員会に出向し、昨年にはガバナー補佐も務められたようですが、会長就任前からドゥマガ族の支援に取り組んでいました。ドゥマガ族というのはフィリピンの山間に暮らす先住民で、水道設備や教育施設などのインフラも全く無く、行政の支援の行き届かないような奥地で取り残されてきた民族です。マンダロンクラブではルイさんが中心となり、この民族の土地に学校を兼ねた集会所を設置したり、先生の育成を支援したり、水道設備を設けたり、あるいは彼らが経済的に自立するための農業の指導といった活動を続けています。最近では、3 時間も 4 時間も掛けて学校に通ってくる子供たちのために、寝泊りや食事の世話のできる宿泊施設を学校の近くに作る計画を進めているとのことでした。

話は戻りますが、ルイさんの来訪後、お互いに数名のメンバーが行き来する中で、2018-19 年度に茅ヶ崎クラブもドゥマガ族の支援プロジェクトに参画しようという

話になりました。

ちょうどマンダロンクラブの創立 55 周年の式典が 11 月にあり、そのお祝いがてら、できたばかりのドゥマガ族の集会所を訪問するツアーに参加しました。茅ヶ崎クラブからは当時の岩澤会長、加藤会員、加瀬会員、私の 4 名がツアーに同行、杉本会員は都合により式典のみの参加となりました。他ではマレーシアの姉妹クラブであるブードゥークラブのメンバーもツアーに参加しました。式典には台北西北クラブのメンバーも来ていましたが、ツアーには来られませんでした。

ツアー当日はまず山麓の村まで 1 時間半位だったでしょうか、マンダロンクラブの会員の車に分乗して行きました。そこで 4 駆のジープに乗り換えて、十数回も川を渡って行きます。とても通常の乗用車では到達できる場所ではなく、車の中で何度も頭をぶつけながら、途中トイレ休憩を挟んで 2 時間程かけて現地に到達しました。できたばかりの集会所にドゥマガ族の人たちが集まっており、マンダロンクラブからは食品や身の回りの支援物資を持ち込み、集まった人々に順番に配っていました。

茅ヶ崎クラブからは国際奉仕予算から支援金 10 万円の他、日本文化を知ってもらう意味で折り鶴・縄跳び・けん玉などを持参、更に横山直前会長からアンダギーを提供していただき、ドゥマガ族の子供たちのおやつとして渡しました。本当は個人的には縄跳びやけん玉の教室みたいなものができれば良いと思っていたのですが、事前にそこまで詰めていくことができず、ちょっと実現しただけで終わってしまいました。

実際に現地に行くとドゥマガ族の生活に触れてみると、確かに様々な支援が必要だと実感できます。「継続は力なり」という言葉もありますが、継続的な支援を続けること、しかも単なる物品の寄付ではなく、彼らが自立していくための支援に繋がるプロジェクトをマンダロンクラブがずっと続けていることには心底敬意を払うところです。先方からは友好クラブに向けて話を進めたいという要望があり、先日行われた現年度・次年度合同理事会においても議題に上げていただきましたが、毎年毎年、何らかのプロジェクトを行わなければいけないということではなく、数年に一度でも共同プロジェクトを実施し、両クラブの友好を深めていきたいというのが先方の趣旨です。

現在、姉妹クラブを締結している台北西北クラブのある台湾は、すでに立派な先進国であり、国際奉仕プロジェクトの対象となりにくい中、海外のプロジェクトの選択肢の一つとなり得るフィリピンにおいて協力者がいるということは、今後のクラブの可能性を拓けるチャンスだとも思います。マンダロンクラブには日本語のできる会員も数名いるので、是非皆さんも今後の両クラブの親交について前向きに考えていただければと思います。

次にビジネス体験隊についてです。この事業は小学校高学年を対象に、実際の会社のように、事業計画の策定から資金調達、材料の仕入れ、製品の製造、販売、決算まで、ビジネスの一連の流れを体験してもらうプログラムで、もともと茅ヶ崎市が専門の運営会社に依頼して実施していたのですが、予算が厳しくなり、継続が難し

くなったという時期、茅ヶ崎クラブの 2019-20 年度に地区補助金を申請して継続実施に協力したものです。

主たる目的としては、次世代の産業を支える人材となるべき子どもたちが、普段体験する機会のない「ビジネスのおもしろさ・大変さ」を疑似体験することにより、独創性・行動力・自立心を伸ばし、ビジネスセンス・生きる力を身につけること、そして 4 日間の実体験を通じてチームワークの大切さ、お金の大切さを学ぶことでした。

対象者は茅ヶ崎市・寒川町の小学 5・6 年生 56 名、茅ヶ崎クラブ・茅ヶ崎市・寒川町から数名ずつで構成されたビジネス体験隊実行委員会的主催で、経済産業省関東経済産業局、茅ヶ崎市、寒川町、茅ヶ崎市教育委員会、寒川町教育委員会、茅ヶ崎商工会議所、寒川町商工会の後援を得、夏休み中の 4 日間をかけて実施されました。初日は開講式に始まり、地元企業家による地域の産業についての講演のあと、8 名ずつ 7 班に分かれ、班ごとに社長・会計・仕入・販売・製造・マーケティング・宣伝の担当を決め、何の商品を扱うかを決めました。もっとも疑似体験ですので、全くのサラの状態から商品を企画する訳ではなく、用意された 7 アイテム（コースター、アロハキーフック、ふせん付きメモパッド、ハーバリウム、アロハメモ帳、デコパージュ石鹸、カラフル消臭剤）の中から各班で取り扱い商品を選びました。その後、会社名を決めてから、市場調査ではイオンを訪れ、実際の店舗で商品がいくら位で販売されているのかの確認をし、最後に商品の特長や完成形をどうするかの話し合いを行いました。

二日目は事業計画書作成と資金調達です。製品をいくつか作って、いくらで販売して、どれだけの利益が見込まれるかの計画を作り、その計画を銀行に説明して融資を受けるところまで行います。実際に横浜銀行さんにも協力してもらい、最初は計画の粗探しではないのですが、いったん断って、もう一度計画を見直してもらうというを行いました。

三日目は事業計画に沿って、必要となる材料を仕入れて商品を作り、販売のためのチラシを作ったり、店舗の飾りつけを考えたり、販売のための研修を行ったりしました。

そして最終日はイオンの入り口の場所を借りて、朝から昼の 12:30 まで実際に商品を販売、午後からは収支報告書を作成し、借入金を返済、残ったお金はみんなで分けるという作業を行い、修了式となりました。

初日から三日目までは朝 9:30～夕方 4:00 まで、最終日は朝 9:00～4:30 までと、小学生にとってはかなりハードなスケジュールだったにもかかわらず、みな非常に喜んでくれたのが何よりでした。初日こそ溶け込めずにいる子もいましたが、日が進むにつれてそれぞれが班の中での役割を見出し、生き活きと取り組んでいたように思います。各班には、茅ヶ崎クラブのメンバーやボランティアの大学生など、大人一人ずつがアドバイザーとして入り、あまりおかしい方向に議論が脱線しないようにまとめてもらいました。他にも材料の販売店役や銀行の行員役として茅ヶ崎クラブメンバーにも協力してもらいました。

また、ジェイコム、TVK、読売新聞、タウンニュース、湘南リビング神奈川新聞社など報道各社に取材に来ていただき、公共イメージの上でも大々的にロータリーの活動を紹介で来たと思います。

終了後に参加者を対象に実施したアンケートでは、会社や働くことについて興味がわいた、まあまあ興味がわいたと回答した参加者は9割を超え、また、保護者を対象としたアンケートでは、応募時の期待であった働くことへの興味を持つこと、お金の大切さを学ぶこと、仲間と協力することの大切さを学ぶことに対しては、満足・やや満足のみで100%となる満足度の高いプログラムでしたが、予算的な問題（地区補助金は同一事業に対して連続で支給することは認められない）や、そもそも翌年以降はコロナの影響もあって参加者募集そのものができなくなったため、この年度以降は実施されていないのは残念なところです。

最後になりますが、2015・16年度に行われた鮎の稚魚の放流事業、これは綾瀬クラブが中心となり、第4グループ全体で実施した事業です。目的としては、神奈川県産の鮎の認知度アップや環境に対する意識向上といったこともあります。何よりも子供たちに自然や地域を愛する心を育んでもらうというのが一番の目的でした。綾瀬・茅ヶ崎・寒川の2市1町の小学生以下の子供たち300名を募集し、寒川の上川橋下流の河川敷で、3自治体の他、神奈川県の後援も得て、また神奈川県内水面漁業振興会・相模川漁業協同組合連合会の協力も得て実施されました。

プログラムとしては、神奈川県産の鮎についての知識や、鮎の一生についての講義を聞いた後に3グループに分かれて交替で放流をしました。待っている間は、河川敷の野菊の保護をしているグループによる紙芝居と、植栽についての説明を聞くなどして過ごしました。この事業の実施の上でのポイントとなったのは、河川敷ということもあり、万が一強風でテントが飛ばされたりしないか、といった安全対策や駐車場の確保、あるいは窓口になっていたのは別のクラブですが、国交省の出先機関や寒川町役場等、関係各所との事前調整にかなりの時間が割かれたようです。一方で集客については、各クラブで50名ずつ集めることを目標に、ボーイスカウトや子供会、会員の親族を中心に声掛けした他、茅ヶ崎市の教育委員会にも掛け合い、市内小学校に案内を出してもらいました。

総じて、子供たちや親御さんの受けは良かったと思いますが、こちらも予算面やコロナ等の影響もあり、第4グループとしての実施はこれ以降行われておりません。ただ、綾瀬クラブは規模を縮小して、単独で行った実績はあるようです。実際、第4グループ全体で実施する事業というのは規模も大きくなりますし、なかなかまとめるのが大変だということは実感として思います。なお、この事業は、J-COM 湘南、NHK 横浜支局、神奈川新聞、湘南リビング各社にも報道をお願いしました。

「親睦と奉仕はロータリーの両輪である」とよく言われます。社会奉仕であれ、国際奉仕であれ、ロータリーの親睦・友好のもとに奉仕の輪が広がるということです。私もそうですが、ロータリークラブは奉仕活動をする団

体だという認識で入会された方も多いと思います。今回の卓話で、今後茅ヶ崎クラブでどのような奉仕活動ができるか、考えていただく機会になれば幸いです。ご清聴、どうもありがとうございました。



上からフィリピンのドゥマガ族を訪ねた際の写真、ビジネス体験隊、鮎の稚魚放流